

平成28（2016）年度

大学院後期博士課程 学生募集要項

- ◆ 経営学研究科
- ◆ 経済学研究科
- ◆ 法学研究科
- ◆ 文学研究科
- ◆ 理学研究科
- ◆ 工学研究科
- ◆ 生活科学研究科

※ 医学研究科、創造都市研究科、看護学研究科の募集要項は別途発行

大阪市立大学

●本学の理念・基本方針等について

大阪市立大学の理念

- 大学の普遍的使命—優れた人材の育成と真理の探究—の達成
- 市民の誇りとなる大学
 - ・都市を学問創造の場としてとらえ、都市の諸問題に英知を結集して正面から取り組む。
 - ・教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。
- 市民に親しまれる大学
 - ・都市型総合大学として、都市・大阪の伝統と文化を継承する。
 - ・自由で創造的な教育と研究及び高水準の医療を推進する。
 - ・市民とともに、都市の文化、経済、産業、医療などの諸機能の向上を図り、真の豊かさの実現をめざす。

教育の基本方針

- 都市・大阪を背景とした市民の大学という理念に立脚
- 人類の幸福と発展に貢献
- 様々な分野で指導的役割を果たし、社会で活躍する人材の育成

研究の基本方針

- 新しい知の創造をめざす独創的で特色ある研究を推進
- 都市が抱える様々な課題に取り組み、成果を都市と市民に還元し、地域社会の発展に寄与
- 新しい産業を生み出す芽となる研究を推進し、その成果を社会に還元

人材育成の目標像

- 新しい研究領域の開拓に取り組むなど、自立した研究者として世界に通用する人材を育成
- 特に高度な知識・技術及び研究能力を有する専門家の育成

【大阪市立大学 大学院課程の3ポリシー】

大阪市立大学は、市井の精神に発した自主独立・自由進取の気風あふれる建学の伝統と、国際的にしてかつ個性的な研究および、高度にしてかつ闊達な教育環境を活かしながら、真善美の価値判断を身につけ英知と市民的公共性を備えた有為な学生、人類の幸福と発展に貢献するため、さまざまな分野において指導的役割を果たし、社会で活躍する学生を育成することを目指しています。

【大学院課程のディプロマポリシー（学位授与の方針）】

そのために、大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、高度に専門性を深め、幅広い知識を備えて、それらを融合しうる研究者や職業人など社会に貢献できる学生を育成します。

この目標を達成するために、全ての学生が、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能等を身につけ、研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を受け、所属研究科が定める所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。

後期博士課程では、新しい研究領域の開拓に取り組むなど世界に通用する自立した研究者や、特に高度な知識・技術及び研究能力を有する専門家となるために必要な能力とその基盤となる学識を身につけているかどうか、課程修了の基準となります。

【大学院課程のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

大阪市立大学は、学位授与の方針に掲げる高度な専門性や知識・技術などを修得させるために、専攻分野に関する科目、大学院共通科目および博士課程教育リーディングプログラム科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業を開講するとともに、優れた研究指導を行う。

大学院共通科目としては、大学院課程を通して教育・研究目的の達成に必要な専門性を越えた普遍的で公正な視点で研究する姿勢を身につけることを目的として設置する。

【大学院課程のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、ディプロマポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、学部あるいは大学院の教育課程等における学修を通して培った確かな基礎学力と専門分野における十分な知識、および人間性豊かで、科学や都市の産業・文化・生活・環境の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そして、このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

目 次

〈 一 般 選 抜 〉

1	募 集 人 員	1
2	出 願 資 格	1
3	事 前 相 談	2
4	出 願 書 類 等	2
5	出 願 方 法	5
6	選 抜 方 法	5
	(学 力 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	5
	経 済 学 研 究 科	6
	法 学 研 究 科	7
	文 学 研 究 科	9
	理 学 研 究 科	11
	工 学 研 究 科	12
	生 活 科 学 研 究 科	13
7	受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について	13
8	合格者発表等について	13
9	学 費	14
10	注 意 事 項	14

〈外国人留学生特別選抜〉

1	募 集 人 員	15
2	出 願 資 格	15
3	事 前 相 談	15
4	出 願 書 類 等	16
5	出 願 方 法	19
6	選 抜 方 法	19
	(学 力 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	20
	経 済 学 研 究 科	20
	法 学 研 究 科	21
	文 学 研 究 科	22
	理 学 研 究 科	24
	工 学 研 究 科	25
	生 活 科 学 研 究 科	26
7	受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について	26
8	合格者発表等について	26
9	学 費	27
10	注 意 事 項	27

〈出願資格審査について〉 28

〈社会人特別選抜学生募集の概要〉 29

- キャンパス・交通案内図 31
- 問 い 合 わ せ 先 裏表紙

●後期博士課程

後期博士課程の標準修業年限は3年です。

なお、文学研究科・理学研究科・工学研究科・生活科学研究科では、職業を有する、又は育児や介護等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを認める長期履修学生制度があります。詳しくは学生サポートセンター各研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。

〈一般選抜〉

1 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員	研究科	専攻	入学定員	募集人員
経営学	グローバルビジネス	8	8	理学	数物系	14	14
経済学	現代経済	8	8		物質分子系	13	13
法学	法学政治学	10	10		生物地球系	14	14
文学	哲学歴史学	8	8	工学	機械物理系	7	7
	人間行動学	8	8		電子情報系	10	10
	言語文化学	12	12		化学生物系	7	7
	アジア都市文化学	4	4		都市系	9	9
				生活科学	生活科学	15	15

・医学研究科、創造都市研究科及び看護学研究科の募集要項は、別途発行します。

- 注 1 学力試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。
- 2 経済学研究科、文学研究科、理学研究科、工学研究科、生活科学研究科については、社会人を対象とした特別選抜があります。社会人特別選抜の募集人員は上記入学定員に含みます。社会人特別選抜の概要については、29 ページを参照の上、各研究科個別の学生募集要項で確認してください。
- 3 本学は上記のほか、医学研究科博士課程(4年)、看護学研究科博士(後期)課程(3年)、創造都市研究科博士(後期)課程(3年)を設置しています。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者及び平成 28 年 3 月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 平成元年文部省告示第 118 号をもって文部大臣の指定した者
- (4) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 28 年 3 月 31 日現在において 24 歳以上の者
- (5) 法学研究科においては、上記以外に次の者も該当します。
 - ア 法務博士の学位を有する者及び平成 28 年 3 月までに取得見込みの者
 - イ 外国において法務博士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月までに授与される見込みの者

- 注 1 経営学・経済学・法学研究科において 2 出願資格(1)、(2)の修士とは、経営学研究科及び経済学研究科は経営学・商学・グローバルビジネス・経済学の修士、法学研究科は法学及び政治学の修士を指します。それ以外の修士の学位取得者及び 2 出願資格(3)、(4)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出のうえ、平成 27 年 12 月 1 日(火)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要書類を提出してください(「出願資格審査について」28 ページを参照してください)。
- 2 経営学研究科の場合、前記注 1 に加え 2 出願資格(2)~(4)により出願しようとする者及び修士論文のない場合は、出願資格の認定のため「出願資格審査申請書」などの書類の提出を必要としますので、平成 27 年 12 月 1 日(火)までに学生サポートセンター経営学研究科教務担当に相談してください(「出願資格審査について」28 ページを参照してください)。
- 3 2 出願資格(3)の「平成元年文部省告示第 118 号をもって文部大臣の指定した者」とは、大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、当該研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者です。

3 事前相談

出願しようとする者は、出願前に、希望する研究指導教員に必ず相談してください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。また、事前相談は教員の出張等により出願に間に合わない場合がありますので、原則として出願期間の2週間前までにしてください。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（各研究科教務担当の電話番号等は裏表紙にあります）。

4 出願書類等

(1) 出願書類等（共通）

1	入学願書 (写真2枚)	<p>① 本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。</p> <p>② ※印の欄は記入しないでください。</p> <p>③ 入学 進学 のいずれかに○をつけてください。</p> <p>④ 受験票と写真票は、縦4cm×横3cmの同じ写真(上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの)をそれぞれ貼ってください。</p> <p>⑤ 「志望分野」欄と「受験外国語」欄には、6. 選抜方法 学力試験(5ページ以下)の「願書記入上の注意」をよく読んで、指定された欄のみ記入してください。</p> <p>⑥ 出願後の記載の変更は認めません。</p>
2	修士課程修了 (見込)証明書 又は 法科大学院修了 (見込)証明書	出身大学長等が作成したもの。(※1) (但し、出願する研究科の前期博士課程修了(見込)の者、及び2出願資格(3)、(4)に該当する者は提出する必要がありません。)
3	大学院成績証明書 (修士課程又は法科大学院の成績証明書)	出身大学長等が作成したもの。(※1) (但し、出願する研究科の前期博士課程修了(見込)の者、及び2出願資格(3)、(4)に該当する者は提出する必要がありません。)
4	学部成績証明書	出身大学長等が作成したもの。(※1) (但し、出願する研究科の前期博士課程修了(見込)の者及び法学研究科を受験する本学法学研究科法曹養成専攻修了(見込)の者、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業者は、提出する必要がありません。)
5	受験票等 送付用封筒	本学所定の封筒に 362 円 分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入したもの。
6	出願資格認定書	出願資格の認定を受けた者。 1ページ「2出願資格」の注1・2の記載をよく読んでください。
7	入学検定料	<p>30,000 円 郵便局の窓口で、本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 ※14ページ 10注意事項(3)に該当する者以外には、既納の入学検定料は返還しません。</p> <p>(本学各研究科前期博士課程修了見込み及び本学法学研究科法曹養成専攻修了見込みの進学希望者は、入学検定料を納付する必要がありません。)</p>

※1 旧姓(名)記載の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わった理由を別紙に記載してください(様式任意)。

(2) 各研究科ごとに必要な書類

《経営学研究科》

A	修士学位請求論文 又はその写し	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部。
B	修士学位請求論文 の要旨	A4版横書きで2,000字程度を1部。
C	志望理由・ 研究計画書	本研究科所定の用紙を用い、記入したものを1部。
D	その他の研究業績 《提出任意》	前期博士課程(修士課程)修了後に研究業績がある場合には、その業績及び要旨(様式はA、Bに準ずる)も提出することができます。

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月29日(金)17:00まで提出の延期を認めますので、12月18日(金)までに学生サポートセンター経営学研究科教務担当に相談のうえ手続をしてください。

《経済学研究科》

A	修士学位請求論文 (写し)	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部。
B	修士学位請求論文 の要旨	A4版横書きで2,000字以内。 修士論文の目次を転記し、上記用紙に綴じ合わせ、表紙をつけたものを4部。
C	志望理由・ 研究計画書	A4版横書きで1,000字程度を4部。
D	補充論文及びその 要旨(該当者のみ)	本研究科の入学試験にかつて不合格となった者は、20,000字以内の補充論文及びその要旨(様式は、Bに準ずる)を提出することが望ましい。
E	その他の研究業績 《提出任意》	前期博士課程(修士課程)修了後に研究業績がある場合には、その業績及び要旨(様式は、Bに準ずる)も提出することができます。

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月28日(木)12:00まで提出の延期を認めますので、1月4日(月)までに学生サポートセンター経済学研究科教務担当に相談のうえ手続をしてください。

《法学研究科》

・修士課程修了(見込)の者(修士論文の審査に合格し、修士の学位を有する者及び取得見込みの者)

A	修士学位請求論文 又はその写し	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部。 (本研究科前期博士課程修了(見込)の者については証明書の提出は不要です。)
B	修士学位請求論文 の要旨	2,000字程度を3部(PC等で作成の場合は、A4版。原稿用紙の場合は、400字詰原稿用紙を使用)。

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月29日(金)12:00まで提出の延期を認めますので1月4日(月)までに学生サポートセンター法学研究科教務担当に相談のうえ手続をしてください。

・修士課程修了(見込)の者

(修士論文の審査以外の試験に合格し、修士の学位を有する者及び取得見込みの者)

・法科大学院修了(見込)の者

A	小論文	専攻しようとする科目に関して適宜表題を設定し、それについて10,000字以上で論述したものを3部。
B	小論文の要旨	2,000字程度を3部。(PC等で作成の場合は、A4版。原稿用紙の場合は、400字詰原稿用紙を使用)。
C	研究計画書	研究テーマ、研究指導を希望する教員の氏名、研究の目的、研究計画を1,000字程度で記述したものを1部。

《文学研究科》

A	修士学位請求論文の 写し（全員） 注を参照	1部。（本研究科前期博士課程修了（見込）で同一専攻専門分野を受験する者は不要です。）
	注 出身大学院の修士論文提出日の関係で、出願時に提出できない場合 次の手順で期日延長を認めます。 ①出願時に C「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。 ②学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：平成 28 年 1 月 28 日（木）の消印有効 学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：平成 28 年 1 月 29 日（金）17：00 まで （郵送の場合は、封筒に「修士学位請求論文（写し）在中」と朱書きし、必ず「文学研究科教務担当」あてに郵便局で 特定記録郵便 により送付のこと。）	
B	修士学位請求論文の 要旨（全員）	日本語で 4,000 字以内に要約したものを 1 部。 A4 版（縦長）にワープロ等で横書きしてください（手書きも可）。 1 行あたりの字数、1 頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。 上記注により、修士学位請求論文を後日送付する場合は、 論文と同時に後日提出 してください。
C	文学研究科 必要事項記入用紙 （全員）	文学研究科の用紙を用い提出してください。
D	A 以外の研究成果を 示す論文等（写し） （希望者のみ）	A（修士学位請求論文の写し）以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを 1 部提出してください。

《理学研究科》

A	修士学位請求論文 の 要 旨	A4 版 2,000 字程度で、前期博士課程（修士課程）の研究題目を記したものを 1 部。
---	-------------------------	---

《工学研究科》

A	修士学位請求論文 又はその写し	A～Cのうち、 いずれか1つを1部提出 。 B・Cの場合は、A4 版 2,000 字程度。 1 ページ「2 出願資格」(3)、(4)によって出願する者は、すでに提出された「出願資格審査申請書」の発表論文等一覧表、又は研究実績をもってこれに代える。
B	修士学位請求論文 の 要 旨	
C	修士学位請求のための 研究成果の要旨	

《生活科学研究科》

A	修士学位請求論文 又はその写し	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを 1 部 （本研究科前期博士課程修了（見込）の者については証明書の提出は不要です）。
B	修士学位請求論文 の 要 旨	A4 版横書きで 1,200 字程度を 1 部。
C	その他の研究業績 《提出任意》	学会等の発表論文又はその要旨（様式随意）

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、2月3日（水）12:00 まで提出の延期を認めますので、1月6日（水）までに学生サポートセンター生活科学研究科教務担当に相談のうえ手続してください。

5 出 願 方 法

出願しようとする者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒を使用し（出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表^{おもて}を切り取ったものを貼った封筒でも構いません）、下記の送付先に必ず書留速達郵便により送付してください。

ただし、本学に在学している者（研究生・研修生等を含む）については、下記出願期間中の 10:00～15:00(12:00～12:45 を除く)の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます（本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること）。

※ 本学各研究科前期博士課程修了見込み及び本学法学研究科法曹養成専攻修了見込みの進学希望者は入学検定料を納付する必要がありません。

出 願 期 間	送 付 先
平成 28 年 1 月 4 日（月）～ 1 月 8 日（金） 【 8 日 17 時 必 着 】 ※ただし、1 月 7 日（木）以前の発信局（日本国内）消印のある「書留速達郵便」に限り、期限後に到着した場合でも受理します。また、最終日の 15 時から 17 時のみ入試室の窓口でも受け付けます。	〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3 丁目 3 番 138 号 大阪市立大学 大学運営本部入試室

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。1 月 18 日（月）頃に発送の予定ですので、1 週間経過しても到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

6 選 抜 方 法

入学者選抜は、学力試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。学力試験会場は、本学杉本キャンパス（JR 阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車）です。

なお、詳細は受験票を送付する際に通知します。受験票は試験当日必ず持参してください。

（学 力 試 験）

● 経 営 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

企業等の経営や会計、産業の諸領域に関わる精深な専門的あるいは学際的知識を有し、企業経営および関連諸領域の専攻分野で高度な知識と能力を身につけることによって、自立した研究者をめざす意欲と能力を有する人を求めます。

《グローバルビジネス専攻》

2 月 17 日（水）		2 月 18 日（木）
9 : 10 ～ 12 : 10		14 : 00 ～
筆答試験		口述試験
英 語 I 語学辞書持ち込み不可	英 語 II 語学辞書持ち込み不可	提出された論文について行います。 (1 人あたり約 30 分)

注 2 月 17 日（水）の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。該当者は、2 月 18 日（木）9 : 30 に商学部支援室（商学部棟 1 階事務室）前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を希望する教員名を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

● 経済学研究科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

経済学のディシプリンをマスターしたうえで、専門分野の研究を深める志向性をもつと同時に、現実感覚に溢れた人材を求めています。

《現代経済専攻》

2月18日（木）		2月19日（金）
10：50～12：20	13：30～	10：00～
筆答試験	口述試験（論文中心）	口述試験（全体）
英語	本研究科前期博士課程を修了した者及び他大学並びに他研究科からの受験者に対し、提出された論文について審査委員により行います。 なお、本研究科前期博士課程を修了見込みの受験者は、1月26日（火）に行います。 （1人あたり約60分）	提出された論文、筆答試験及び今後の研究計画等、全体にわたって研究科教員により全受験者に対して行います。 （1人あたり約30分）
<p>なお、英語による設問で英語による解答が可能なオプション問題を選択することができます。</p> <p>ただし、このオプション問題を選択する場合は、事前に申請してください。</p> <p>辞書1冊の持ち込み可。</p> <p>ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。</p>		

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を志望する教員の担当授業科目を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
- ② 英語の筆答試験について、英語による設問で英語による解答が可能なオプション問題を選択する場合、「受験外国語」欄の1に○印を記入してください。

● 法 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

- 1 法学的・政治学的問題に深い関心を持ち、解決策を模索する強靱な意志を持つ人。
- 2 自立した研究者として、法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な法学的・政治学的知識を持つ人。
- 3 法学・政治学の通時的・共時的研究をするために必要な外国語の能力を持つ人。
- 4 自己の見解を論理的に構築し、それを文章化して広く世に問う能力を持つ人。

《法学政治学専攻》

・修士課程修了（見込）の者（修士論文の審査に合格し、修士の学位を有する者及び取得見込みの者）

2月17日（水）			
9：00～10：30		13：00～	
筆答試験		口述試験	
外国語 英語、ドイツ語、フランス語、中国語から 1か国語 を選択。 ただし、下記の専門分野については、選択できる外国語の範囲が指定されていますので、入学後、その専門分野を専攻しようとする者は、その指定にしたがって選択してください。			
選択できる外国語の範囲			
専門分野	指定する外国語	専門分野	指定する外国語
英米法	英語	商法	英語、ドイツ語、フランス語
ドイツ法	ドイツ語	国際私法	ドイツ語、フランス語、中国語
アジア法 （中国法）	中国語	行政法	英語、ドイツ語、フランス語
民法	ドイツ語、フランス語	民事訴訟法	英語、ドイツ語、フランス語
倒産法	英語、ドイツ語、フランス語		

提出された修士論文について行います。
（1人あたり約30分）

注1 実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟2階事務室前に掲示します。

2 選択した外国語につき辞書1冊の持ち込み使用を認めます（ただし電子辞書は不可）。

なお、下記の者については、筆答試験（外国語科目）を免除します（前期博士課程修了後3年間に限る）。

ア 本研究科前期博士課程入学試験において、科目重視型方式で受験して本研究科前期博士課程に入学した者のうち、以下のいずれかに該当する者。

- ① 前期博士課程入学試験において、後期博士課程入学試験に関して専門分野によって指定された範囲内の外国語を選択した者。
- ② 前期博士課程在学中に外国語の文献講読を主内容とする授業科目のうち、本研究科が指定した科目8単位（後期博士課程入学試験に関して専門分野によって指定された範囲内の外国語に限る）を修得した者。

イ 推薦入学特別選抜により本研究科前期博士課程に入学した者で、前期博士課程在学中に、外国語の文献講読を主内容とする授業科目のうち、本研究科が指定した科目8単位（後期博士課程入学試験に関して専門分野によって指定された範囲内の外国語に限る）を修得した者。

《法学政治学専攻》

- ・ 修士課程修了（見込）の者
（修士論文の審査以外の試験に合格し、修士の学位を有する者及び取得見込みの者）
- ・ 法科大学院修了（見込）の者

2月17日（水）	
2科目受験者 9:00～12:00	左記の2科目受験者 13:00～
3科目受験者 9:00～13:30	左記の3科目受験者 14:30～
筆答試験	口述試験
外国語	専門科目
<p>英語、ドイツ語、フランス語、中国語から1か国語を選択。 ただし、専門分野によっては、選択できる外国語の範囲が指定されていますので、入学後、その専門分野を専攻しようとする者は、その指定にしたがって選択してください。【選択できる外国語の範囲は《修士課程修了者（修士論文の審査に合格し、修士の学位を有する者及び取得見込みの者）》と同じ】</p>	<p>別表1の専門試験科目から、志望する専門分野（主専攻）に対応する1科目を選択。 なお、欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学を専攻しようとする者は、さらに、左記で選択した外国語以外の外国語を1か国語又は別表2の政治系の専門科目から1科目を選択（但し主専攻として選択した科目を除く）。</p>
<p>提出された小論文及び研究計画書について行います。 (1人あたり約30分)</p>	

- 注 1** 実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟2階事務室前に掲示します。
注 2 専門試験科目の選択において、**国際組織法を専攻しようとする者は、必ず国際法を選択すること。**
注 3 選択した外国語につき辞書1冊の持ち込み使用を認めます（ただし電子辞書は不可）。

別表1

別表2

専門試験科目	主専攻で選択した科目以外の政治系の専門試験科目
<p>法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法、民事訴訟法、倒産法、労働法、社会保障法、国際法、国際経済法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法（中国法）、欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学</p>	<p>欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学</p>

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を希望する教員名を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
なお、法務博士の学位を取得見込みの者は、志望する専門分野に対応する専門科目名も記入してください。
- ② 「受験外国語」欄の1に「選択した外国語」を記入してください。
なお、法務博士の学位を取得見込みの者で、欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学を専攻しようとする者（3科目受験者）は、「受験外国語」欄の2に、1以外の外国語又は政治系の専門科目名を記入してください。
- ③ 出願後の変更はできません。

● 文 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

文学研究科は、人間、社会、文化、言語に関心を持つ人間性豊かな人材を育成することを目標としている。それに対応して、以下のような人材を求める。

- ・人文科学・行動科学の専門領域に関する高度な知識と独創的研究テーマを有する人
- ・研究成果を国内外に発信できる情報発信能力を備えた人

《哲学歴史学専攻》

日時等	2月17日（水）	2月18日（木）
		13:30～16:30
専門分野	筆答試験	口述試験（100点）
	論文（100点）	
哲 学	志望する専門分野について論文試験を行います。	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います。 (1人あたり約30分)
日本史学		
東洋史学		
西洋史学		

※各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入上の注意事項」を参照して記入してください。

《人間行動学専攻》

日時等	2月17日（水）	2月18日（木）
		13:30～16:30
専門分野	筆答試験	口述試験（100点）
	論文（100点）	
社 会 学	志望する専門分野について論文試験を行います。	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います。 (1人あたり約30分)
心 理 学		
教 育 学		
地 理 学		

※各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入上の注意事項」を参照して記入してください。

《言語文化学専攻》

日時等	2月17日(水)	2月18日(木)
		13:30～16:30
専門分野	筆答試験	口述試験(100点)
	論文(100点)	
国語国文学	志望する専門分野について論文試験を行います。	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います。 (1人あたり約30分)
中国語中国文学		
英語英米文学		
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学 ※※		
言語応用学		
表現文化学		

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。
 ※※主として専攻する分野(ドイツ語圏文化学又はフランス語圏文化学)を願書の所定欄に明記すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入上の注意事項」を参照して記入してください。

《アジア都市文化学専攻》

日時等	2月17日(水)	2月18日(木)
		13:30～16:30
専門分野	筆答試験	口述試験(100点)
	論文(100点)	
アジア都市文化学	アジア都市文化学に関する論文試験を行います。	筆答試験及び提出された論文等について行います。 (1人あたり約30分)

※筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入上の注意事項」を参照して記入してください。

● 理 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

自然科学における広範で高度な学力を有し、自ら新たな問題を発掘し、それを解決する意欲をもち、さまざまな分野で国際的リーダーとして活躍することを目指す人を求めます。

《数物系専攻》

2月10日（水）	
9：30～12：00	13：30～
筆答試験	口述試験（約15分）
英 語 （辞書等、使用不可）	本人の研究成果の発表及び関連する専門的事項。 （研究業績に関する資料を準備しておいてください。） ＜PCプロジェクター使用可＞

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、次の専門分野から一分野を選んで講座番号と専門分野を記入してください（専門分野の研究内容については「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください）。

講座番号	講座名	専門分野
A1	数理構造論	代数系、表現論、多様体論、位相幾何学
A2	数理解析学	確率論、応用数学、代数解析学、偏微分方程式、微分幾何学、実解析学・複素解析学
A3	基礎物理学 （理論）	素粒子論、原子核理論、宇宙物理、数理物理
A4	宇宙・高エネルギー物理学 （実験）	宇宙線物理学、高エネルギー物理学、宇宙・素粒子実験物理学、重力波実験物理学
A5	物性物理学	超低温物理学（実験）、光物性物理学（実験）、生体・構造物性物理学（実験）、素励起物理学（理論）、電子相関物理学（理論）、レーザー量子物理学（実験）

- ② 「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

《物質分子系専攻》

2月10日（水）	
13：30～	
口述試験（約15分）	
本人の研究成果の発表及び関連する専門的事項（研究業績に関する資料を準備しておいてください。） ＜PCプロジェクター使用可＞	

願書記入上の注意

- 「志望分野」欄、「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

《生物地球系専攻》

2月10日(水)
13:30～
口述試験(約15分)
本人の研究成果の発表及び関連する専門的事項 (研究業績、研究計画等を説明するためのPCプロジェクター用電子ファイルを当日持参してください。)

願書記入上の注意 ① 「志望分野」欄に、次の専門分野から一分野を選んで講座番号と専門分野を記入してください(専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください)。

講座番号	講座名	専門分野
C1	生物分子機能学	代謝調節機能学、生体低分子機能学、生体高分子機能学
C2	生体機能生物学	動物機能生物学、植物機能生物学、細胞機能学
C3	自然誌機能生物学	動物機能生態学、植物機能生態学、情報生物学、植物進化適応学
C4	環境地球学	人類紀自然学、都市地盤構造学、地球情報学
C5	地球物質進化学	地球物質学、岩石学、地球史学

② 「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

● 工 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

工学研究科に進学した人には、研究者、技術者としての主体性を高め、多様な局面に迅速に対応し、問題の本質を見抜き解決できる能力を身につけてほしいと考えています。そのために、工学研究科では、学生の勉学と研究を積極的に支援するとともに、従来の専攻の枠組みにとらわれない学際的な研究体制を発展させ、多彩な教育・研究指導により、世界的に優れた成果を得る機会と環境を提供します。また、大学院生による海外での研究発表を積極的に推奨するとともに、社会人の学位(博士(工学))取得も応援します。工学の分野で社会に貢献する使命感を持つ学生を受け入れたいと考えています。

- ・ 工学的基礎研究とその応用研究を遂行する自立した研究者となる素養を持った人
- ・ 国内外の研究者・技術者と共同して高度な技術開発を遂行できる技術者となる素養を持った人
- ・ 専門分野のみならず、他分野を横断した研究・開発を自ら企画し、実行できる力をもつ高度な技術者あるいは研究者となる素養を持った人
- ・ すでに社会で活躍しており、修士の学位を有するか、それと同等の学力と研究業績があると認められる研究者および技術者で、研究・開発におけるさらなる飛躍を求めグローバルに活躍する素養を持った人、または自らが得た研究成果を体系化する素養を持った人

《機械物理系専攻、電子情報系専攻、化学生物系専攻、都市系専攻》

3月1日(火)
10:00～
口述試験(1人あたり約30分)
提出書類、研究業績、研究計画等について口述試験を行います。 <機械物理系> ①研究業績、研究計画等を説明するためのPCプロジェクター用電子ファイル、②研究業績、研究計画等をA4用紙5枚程度にまとめたもの(上記①を配布形式で印刷したのもでも可)5部を当日持参してください。 <電子情報系・化学生物系> 研究業績、研究計画等を説明するためのPCプロジェクター用電子ファイルを当日持参してください。 <都市系> ①研究業績、研究計画等を説明するためのPCプロジェクター用電子ファイル(発表時間15分)、②研究業績、研究計画等をA4用紙5枚程度にまとめたもの10部を当日持参してください。

願書記入上の注意 ① 「志望分野」欄に、「大学院の概要」〔別冊子〕の各専攻の研究テーマ欄の中から、志望するものを選び、その研究テーマ番号を記入してください。
 ② 「研究指導教員名欄」には、事前相談をした研究指導を希望する教員名を記入してください。
 ③ 「受験外国語」欄には、記入する必要がありません。

● 生活科学研究科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

人間生活の多様な側面について、専門的知識をもとに科学的に追究し、現代社会における生活問題の改善や解決について独創的、体系的に究明しようとする人を求めます。

《生活科学専攻》

出願しようとする者は、「大学院の概要」を参照の上、志望する専門科目の教員に原則として出願期間の2週間前までに必ず相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。

2月17日（水）	
10:00～12:00	13:30～
筆答試験	
外国語1	外国語2
必須	次の3科目から1科目選択 英語2 ドイツ語 フランス語
英語1	※ドイツ語・フランス語については独和・仏和辞典1冊の持ち込み可。 ただし、電子辞書は不可。
提出された論文等を中心として発表（約10分）を行った後、それに関連した専門科目について行います。 <OHP・PCプロジェクター等使用可>	

願書記入上の注意

- ① 「志望専攻」欄に「生活科学」と記入してください。
また、「志望分野」欄に専門分野名を「大学院の概要」から選んで記入してください。専門分野名は研究テーマ欄の【 】から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄の1に上記外国語2から1科目を選んで記入してください。
- ③ 口述試験でOHP・PCプロジェクター等を使用する場合は、「氏名」欄右端に必要な機器を記入してください。ただし用意できない機器もありますので、事前に学生サポートセンター生活科学研究科教務担当に相談してください。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、平成27年12月3日（木）までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、平成27年12月4日（金）以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り12月3日（木）までに申し出てください。

8 合格者発表等について

(1) 合格者発表

掲示・ホームページにより合格者の発表をおこないます。

研究科	日時（掲示・HP掲載期間）	場所（掲示）
経営学研究科	3月3日（木）10:00～3月9日（水）17:00	各研究科の 指定する場所
経済学研究科	3月2日（水）10:00～3月8日（火）17:00	
法学研究科	3月3日（木）10:00～3月9日（水）17:00	
文学研究科	3月3日（木）10:00～3月9日（水）17:00	
理学研究科	2月26日（金）10:00～3月3日（木）17:00	
工学研究科	3月10日（木）10:00～3月16日（水）17:00	
生活科学研究科	3月3日（木）10:00～3月9日（水）17:00	

ホームページでの合格者発表

大阪市立大学入試情報ホームページ（<http://daigakuje.jp/ocu-in-goukaku>）に、合格者受験番号の一覧を掲載します。

なお、いずれの発表方法についても電話等による可否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

※経済学研究科・文学研究科を受験した者については、合格者発表日に「合格者受験番号一覧表」を発送します（返信用封筒を用意する必要はありません）。

(2) 合格通知書

合格者発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続等について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。また、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格者発表日に、「合格通知書」及び「入学手続等について」を送ります（手渡しでの書類交付はありません）。

(3) 入学手続

日時 平成 28 年 3 月 25 日（金） 10:00 ~ 15:00（ただし、12:00~12:45 を除く）
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

9 学 費

現行の金額は次のとおりですが、平成 28 年度入学者の金額については変更されることがあります。

入学料	納付区分	「大阪市住民及びその子」注	222,000円
		「その他の者」	342,000円
授業料		年間	535,800円

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注 1 「大阪市住民及びその子」とは、入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、平成 27 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

2 「大阪市住民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」及び「住民票などの公的書類（平成 28 年 3 月中に交付を受けたもの）を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は合格者発表日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお入学料納付区分認定を受ける方は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※ 既納の納付金は、還付いたしません。

なお、入学料及び授業料については、減免の制度があります。詳細については、合格者発表日にお渡しする「入学料減免及び授業料減免・分納の取扱いについて」を参照してください。

また、入学料については、平成 28 年 3 月に本学研究科前期博士課程及び本学法学研究科法曹養成専攻を修了して進学する者は、不要です。

10 注意事項

- (1) 出願受理後の出願取り消しは一切認めません。
- (2) 学力試験の結果に関する照会には応じません。
- (3) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
 - ・ 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・ 出願書類の不備等により受理されなかった場合
 - ・ 重複して入学検定料を払い込んだ場合※ 返還の方法等は、出願期間最終日より 1 ヶ月以内に大学運営本部入試室までお問い合わせください。
- (4) 入学願書に虚偽の記載をした場合、又は入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 1 ページの「2 出願資格(3)(4)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
- (6) 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。

詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(裏表紙参照)。

〈外国人留学生特別選抜〉

1 募集人員

経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科・工学研究科・生活科学研究科の各専攻について、**若干名**を募集します（各専攻名は、1 ページの〈一般選抜〉で記載している「1 募集人員」を参照してください）。

2 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月までに授与される見込みの者
- (2) 外国人留学生として日本の大学院において修士の学位を授与された者及び平成 28 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 平成元年文部省告示第 118 号をもって文部大臣の指定した者
- (4) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 3 月 31 日現在で 24 歳以上の者
- (5) 法学研究科においては、上記以外に次の者も該当します。
 - ア 法務博士の学位を有する者及び平成 28 年 3 月までに修得見込の者
 - イ 外国において法務博士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月までに授与される見込みの者

注 1 経営学・経済学・法学研究科において 2 出願資格(1)、(2)の修士とは、経営学研究科及び経済学研究科は経営学・商学・グローバルビジネス・経済学の修士、法学研究科は法学及び政治学の修士を指します。それ以外の修士の学位取得者及び 2 出願資格(3)、(4)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、平成 27 年 12 月 1 日(火)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要書類を提出してください(「出願資格審査について」28 ページを参照してください)。

2 経営学研究科の場合、前記注 1 に加え、2 出願資格(3)、(4)及び修士論文のない場合は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、平成 27 年 12 月 1 日(火)までに必ず学生サポートセンター経営学研究科教務担当に相談してください(「出願資格審査について」28 ページを参照してください)。

3 2 出願資格(3)の「平成元年文部省告示第 118 号をもって文部大臣の指定した者」については、1 ページの〈一般選抜〉で記載している「2 出願資格の注 3」を参照してください。

3 事前相談

出願しようとする者は、出願資格及び希望する研究指導教員についての確認が必要ですので、出願前〔平成 27 年 12 月 1 日(火)まで〕に研究指導教員に相談してください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。

研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(各研究科教務担当の電話番号等は、裏表紙にあります)。

4 出願書類等

(1) 出願書類等（共通）

1	・入 学 願 書 ・受験票等送付用封筒 ・入 学 検 定 料	2 ページの〈一般選抜〉で記載している「4 出願書類等」を参照 ※ <u>本学各研究科前期博士課程修了見込み及び本学法学研究科法曹養成専攻修了見込みの進学希望者は入学検定料を納付する必要がありません。</u>
2	日本語の能力証明書	日本語の公的試験を受けた者は、成績表のコピーを提出。 日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に指導を受けた教員により記載・公的な押印がされたものを提出。（様式任意）（但し、出願する研究科の前期博士課程修了（見込）の者は提出する必要がありません。） ※個人の印では認められません。※理学研究科・工学研究科は不要
3	旅券（パスポート）の写し	写真が掲載されているページと在留資格が掲載されているページのコピーを提出してください（在留資格がわかるようにコピーをとること）。 在留資格を所持していない場合は、写真掲載ページのみ提出してください。
4	出願資格認定書	出願資格の認定を受けた者。 15 ページ「2 出願資格」の注 1・2 の記載をよく読んでください。
5	修士課程修了（見込）証明書 又は 法科大学院修了（見込）証明書	出身大学長等が作成したもの。 （但し、出願する研究科の前期博士課程修了（見込）の者、及び 2 出願資格(3)、(4)により出願する者は提出する必要がありません。） (※)
6	大学院成績証明書 （修士課程又は 法科大学院の成績証明書）	出身大学長等が作成したもの。 （但し、出願する研究科の前期博士課程修了（見込）の者、及び 2 出願資格(3)、(4)により出願する者は提出する必要がありません。） (※)
7	成績証明書（学部）	出身大学長等が作成したもの （但し、出願する研究科の前期博士課程修了（見込）の者、及び法学研究科を受験する本学法学研究科法曹養成専攻修了（見込）の者、並びに 2 出願資格(3)、(4)により出願する者は提出する必要がありません。） (※)

(※) 和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学、日本語学校、大使館等)の証明のある翻訳文をあわせて提出してください。個人の署名や印では認められません。

(2) 各研究科ごとに必要な書類

《経営学研究科》

A	推 薦 書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教員が作成の上、 厳封したもの。 (※)
B	履 歴 書	本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可） を使用し、本人が記入してください。 ① 学歴は、学校教育全期間を記入してください。 ② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。 ③ 研究歴、職歴があれば記入してください。
C	修士学位請求論文 （ 写 し ）	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを 3 部 （日本語・英語以外は日本語訳又は英語に訳したものを必ず添付すること）。
D	修士学位請求論文 の 要 旨	日本語によるもの 2,000 字程度（A4 版横書）を 1 部。
E	志望理由・研究計画書	経営学研究科所定の用紙に、志望理由・研究計画書等を記入の上、1 部 提出してください（日本語・英語以外は日本語訳又は英語に訳したものを 必ず添付すること）。

注 Cについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月29日（金）17:00 まで提出の延期を認めますので、12月18日（金）までに学生サポートセンター経営学研究科教務担当に相談の上、手続をしてください。

《経済学研究科》

A	修士学位請求論文 (写し)	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部 (英語以外は日本語訳又は英語訳したものを必ず添付すること)。
B	修士学位請求論文 の要旨	A4版横書きで2,000字以内。 修士論文の目次を転記し、上記用紙に綴じ合わせ、表紙をつけたものを 4部。
C	志望理由・ 研究計画書	A4版横書きで1,000字程度を4部。
D	補充論文及びその 要旨(該当者のみ)	本研究科の入学試験にかつて不合格となった者は、20,000字以内の補 充論文及びその要旨(様式は、Bに準ずる)を提出することが望ましい。
E	その他の研究業績 《提出任意》	前期博士課程(修士課程)修了後に研究業績がある場合にはその業績及 び要旨(様式は、Bに準ずる)も提出することができます。

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月28日(木)12:00まで提出の延期を認
めますので、1月4日(月)までに学生サポートセンター経済学研究科教務担当に相談の上、手続をしてく
ださい。

《法学研究科》

- ・修士の学位又は修士の学位に相当する学位を授与された者及び取得見込みの者
(修士論文の審査に合格し、修士の学位を有する者及び取得見込みの者)

A	修士学位請求論文 (写し)	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部。 (本研究科前期博士課程修了(見込)の者については証明書の提出は不要 です。)注
B	修士学位請求論文 の要旨	日本語、英語、ドイツ語、フランス語のいずれかにより、A4版2枚程 度(字数は日本語に換算して2,000字程度)を3部。

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月29日(金)12:00まで提出の延期を認
めますので、1月4日(月)までに学生サポートセンター法学研究科教務担当に相談の上、手続をしてくだ
さい。

- ・修士の学位又は修士の学位に相当する学位を授与された者及び取得見込みの者
(修士論文以外の審査に合格し、修士の学位を有する者及び取得見込みの者)
- ・法務博士の学位又は法務博士の学位に相当する学位を有する者及び取得見込みの者

A	小論文	専攻しようとする科目に関して適宜課題を設定し、それについて論述し たものを3部。 なお、日本語の場合10,000字以上とする。
B	小論文の要旨	日本語、英語、ドイツ語、フランス語のいずれかにより、A4版2枚程 度(字数は日本語に換算して2,000字程度)を3部。

《文学研究科》

A	履歴書（全員）	<p>本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。</p> <p>① 学歴は、学校教育全期間を記入してください。</p> <p>② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。</p> <p>③ 研究歴、職歴があれば記入してください。</p>
B	修士学位請求論文の写し（全員） 注を参照	<p>出身研究科長等の証明書（様式随意）を提出論文の表紙に添付したものを1部（本研究科前期博士課程修了（見込）で同一専攻専門分野を受験する者は不要です）。</p>
	注	<p>出身大学院の修士論文提出日の関係で、出願時に提出できない場合次の手順で期日延長を認めます。</p> <p>①出願時にD「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。</p> <p>②学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：平成28年1月28日（木）の消印有効 学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：平成28年1月29日（金）17：00まで（郵送の場合は、封筒に「修士学位請求論文（写し）在中」と朱書きし、「文学研究科教務担当」あてに必ず郵便局で特定記録郵便により送付のこと。）</p>
C	修士学位請求論文の要旨（全員）	<p>日本語で4,000字以内に要約したものを1部。 A4版（縦長）にワープロ等で横書きしてください（手書きも可）。 1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。 上記注により、修士論文を後日送付する場合は、論文と同時に後日提出してください。</p>
D	文学研究科 必要事項記入用紙（全員）	<p>文学研究科所定の用紙を用い提出してください。</p>
E	B以外の研究成果を示す論文等（写し）（希望者のみ）	<p>B（修士学位請求論文の写し）以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを1部提出してください。 外国語で書かれたものでも構いません。</p>

《理学研究科》

A	推薦書	<p>最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教員が作成の上、厳封したもの。本研究科前期博士課程修了（見込）の者は提出する必要がありません。（※）</p>
B	履歴書	<p>本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。</p> <p>① 学歴は、学校教育全期間を記入してください。</p> <p>② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。</p> <p>③ 研究歴、職歴があれば記入してください。</p>
C	修士学位請求論文の要旨	<p>A4版2,000字程度で、前期博士課程（修士課程）の研究題目を記したものを1部。</p>

《工学研究科》

A	推薦書	<p>最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教員が作成の上、厳封したもの。（※） 本研究科前期博士課程修了（見込）の者は提出する必要がありません。 ただし、卒業後、年数が経っている場合や指導教員の退職等により推薦書を得られないなど、特別な事情がある場合は、学生サポートセンター工学研究科教務担当に相談してください。</p>
B	履歴書	<p>本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。</p> <p>① 学歴は、学校教育全期間を記入してください。</p> <p>② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。</p> <p>③ 研究歴、職歴があれば記入してください。</p>
C	① 修士学位請求論文 ② 修士学位請求論文の要旨 ③ 修士学位請求のための研究成果の要旨	<p>①～③のうち、いずれか1つを1部提出すること。なお、②・③の場合は、A4版2,000字程度。また、2出願資格(3)、(4)によって出願する者は、すでに提出された「出願資格審査申請書」の発表論文等一覧表、又は研究実績をもってこれに代える。</p>

《生活科学研究科》

A	推 薦 書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教員が作成の上、 厳封したもの。(※) 本研究科前期博士課程修了(見込)の者は提出する必要がありません。 ただし、卒業後、年数が経っている場合や指導教員の退職等により推薦 書を得られないなど、特別な事情がある場合は、学生サポートセンター生 活科学研究科教務担当に相談してください。
B	履 歴 書	本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可） を使用し、本人が記入してください。 ① 学歴は、学校教育全期間を記入してください。 ② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。 ③ 研究歴、職歴があれば記入してください。
C	修士学位請求論文 (写し)	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを1部 (本研究科前期博士課程を平成28年3月に修了見込みの者については、 証明書の提出は不要です)。
D	修士学位請求論文 の 要 旨	A4版1,200字程度を1部。
E	その他の研究業績 《提出任意》	学会等の発表論文又はその要旨（様式随意）

注 Cについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、2月3日（水）12:00まで提出の延期を
認めますので、1月6日（水）までに学生サポートセンター生活科学研究科教務担当に相談の上、手続
してください。

**(※) 和文、英文以外の推薦書については、公的機関等の証明のある翻訳文もあわせて提出してください
(翻訳文を必要とする場合、厳封は不要です)。**

5 出 願 方 法

入学検定料を納付し、16ページに記載の「4 出願書類等、(1)出願書類等（共通）」の書類及び、「(2)
各研究科ごとに必要な書類」を取りそろえ、本学所定の出願封筒を使用し、送付してください。

※ 出願手続きについては、5ページに記載の〈一般選抜〉で記載している「5 出願方法」と同様で
す。

※ 本学各研究科前期博士課程修了見込み及び本学法学研究科法曹養成専攻修了見込みの進学希望者は入
学検定料を納入する必要がありません。

6 選 抜 方 法

入学者選抜は、学力試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。学力試験会場は、本学杉本
キャンパス（JR阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車）です。

なお、詳細は受験票を送付する際に通知します。受験票は試験当日必ず持参してください。

(学 力 試 験)

● 経 営 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

企業等の経営や会計、産業の諸領域に関わる精深な専門的あるいは学際的知識を有し、企業経営および関連諸領域の専攻分野で高度な知識と能力を身につけることによって、自立した研究者をめざす意欲と能力を有する人を求めます。

《グローバルビジネス専攻》

2月17日(水)	2月18日(木)
9:10～12:10	14:00～
筆答試験	口述試験
英語(英文和訳) (語学辞書持ち込み不可) ※日本国政府の文部科学省による国費外国人留学生に対しては、筆答試験を免除します。	提出された論文について行います。 (1人あたり約30分)

注 2月17日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。該当者は、2月18日(木)9:30に商学部支援室(商学部棟1階事務室)前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を希望する教員名を「大学院の概要」[別冊子]から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

● 経 済 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

経済学のディシプリンをマスターしたうえで、専門分野の研究を深める志向性をもつと同時に、現実感覚に溢れた人材を求めています。

《現代経済専攻》

2月18日(木)		2月19日(金)
10:50～12:20	13:30～	10:00～
筆答試験	口述試験(論文中心)	口述試験(全体)
英語	本研究科前期博士課程を修了した者及び他大学並びに他研究科からの受験者に対し、提出された論文について審査委員により行います。 なお、本研究科前期博士課程を修了見込みの受験者は、1月26日(火)に行います。 (1人あたり約60分)	提出された論文、筆答試験及び今後の研究計画等、全体にわたって研究科教員により全受験者に対して行います。 (1人あたり約30分)
なお、英語による設問で英語による解答が可能なオプション問題を選択することができます。 ただし、このオプション問題を選択する場合は、事前に申請してください。 辞書1冊の持ち込み可。 ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。		

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を希望する教員の担当授業科目を「大学院の概要」[別冊子]から選んで記入してください。
- ② 英語の筆答試験について、英語による設問で英語による解答が可能なオプション問題を選択する場合は、「受験外国語」欄の1に○印を記入してください。

● 法 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

- 1 法学的・政治学的問題に深い関心を持ち、解決策を模索する強靱な意志を持つ人。
- 2 自立した研究者として、法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な法学的・政治学的知識を持つ人。
- 3 法学・政治学の通時的・共時的研究をするために必要な外国語の能力を持つ人。
- 4 自己の見解を論理的に構築し、それを文章化して広く世に問う能力を持つ人。

《法学政治学専攻》

ア・外国において法学修士又は政治学修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者。

- ・外国において法務博士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

2月17日（水）	
9：00～10：30	13：00～
筆答試験	口述試験
これまでの業績及び今後日本において研究を希望するテーマについて日本語で行います。	提出された修士論文又は小論文及び筆答試験の解答について、日本語で行います。 (1人あたり約30分)

イ・外国人留学生として日本の大学院において法学修士又は政治学修士の学位を授与された者及び平成 28 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者。

- ・法務博士の学位を有する者及び平成 28 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

2月17日（水）	
9：00～10：30	13：00～
筆答試験	口述試験
母語以外の外国語 1 か国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語から 1 か国語を選択） ただし、本研究科の内部進学受験者は外国語科目を免除します。	提出された修士論文又は小論文について、日本語で行います。 (1人あたり約30分)

注 1 実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟 2 階事務室前に掲示します。

- 2 筆答試験の外国語については、辞書 1 冊の持ち込み使用を認めます（ただし、電子辞書は不可）。

ウ 法学及び政治学以外の修士の学位取得（見込）の者並びに「2 出願資格(3)、(4)」(15 ページ)により出願した者の学力試験の方法については、事前相談の結果により、上記ア又はイで行います。

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を志望する教員名を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄の 1 に「選択した外国語」を記入してください。
- ③ 出願後の変更はできません。

● 文 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

文学研究科は、人間、社会、文化、言語に関心を持つ人間性豊かな人材を育成することを目標としている。それに対応して、以下のような人材を求める。

- ・人文科学・行動科学の専門領域に関する高度な知識と独創的研究テーマを有する人
- ・研究成果を国内外に発信できる情報発信能力を備えた人

《哲学歴史学専攻》

日時等 専門分野	2月17日（水）		2月18日（木）
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験 外国語（50点）	筆答試験 論文（100点）	口述試験（100点）
哲 学	日本語 ※専門分野別に 出題されます。	志望する専門分野について 論文試験を行います。	専門分野別に、筆答試験及び 提出された論文等について行 います。 (1人あたり約30分)
日本史学			
東洋史学			
西洋史学			

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入上の注意事項」を参照して記入してください。

《人間行動学専攻》

日時等 専門分野	2月17日（水）		2月18日（木）
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験 外国語（50点）	筆答試験 論文（100点）	口述試験（100点）
社 会 学	日本語 ※専門分野別に 出題されます。	志望する専門分野について 論文試験を行います。	専門分野別に、筆答試験及び 提出された論文等について行 います。 (1人あたり約30分)
心 理 学			
教 育 学			
地 理 学			

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入上の注意事項」を参照して記入してください。

《言語文化学専攻》

日時等 専門分野	2月17日(水)		2月18日(木)
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験 外国語(50点)	筆答試験 論文(100点)	口述試験(100点)
国語国文学	日本語 ※専門分野別に 出題されます。	志望する専門分野に ついて論文試験を行 います。	専門分野別に、筆答試験及び 提出された論文等について行 います。 (1人あたり約30分)
中国語中国文学			
英語英米文学			
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学 ※※			
言語応用学			
表現文化学			

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。
 ※※主として専攻する分野(ドイツ語圏言語文化学又はフランス語圏言語文化学)を願書の所定欄に明記すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入上の注意事項」を参照して記入してください。

《アジア都市文化学専攻》

日時等 専門分野	2月17日(水)		2月18日(木)
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験 外国語(50点)	筆答試験 論文(100点)	口述試験(100点)
アジア都市 文化学	日本語	アジア都市文化学に関する 論文試験を行います。	筆答試験及び提出された論 文等について行います。 (1人あたり約30分)

※ 筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入上の注意事項」を参照してください。

● 理 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

自然科学における広範で高度な学力を有し、自ら新たな問題を発掘し、それを解決する意欲をもち、さまざまな分野で国際的リーダーとして活躍することを目指す人を求めます。

《数物系専攻》

2月10日（水）	
9：30～12：00	13：30～
筆答試験	口述試験
英語及び専門科目（英語が母語とみなされる場合は、他の試験を課すこともあります。）	専門科目、日本語修得の程度等について行います。（1人あたり約20分）

《物質分子系専攻》

2月10日（水）	
13：30～	
口述試験（約15分）	
本人の研究成果の発表及び関連する専門的事項（研究業績に関する資料を準備しておいてください） <PCプロジェクター使用可>	

《生物地球系専攻》

2月10日（水）	
9：30～12：00	13：30～
筆答試験	口述試験
英語及び専門科目（英語が母語とみなされる場合は、他の試験を課すこともあります。）	専門科目、日本語修得の程度等について行います。（1人あたり約20分）

注 専攻により、口述試験の時間を変更して実施する場合があります。

願書記入上の注意

11・12 ページの<一般選抜>で記載している各専攻ごとの「願書記入上の注意」と同様です。ただし、一部変更する場合があります。

● 工 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

工学研究科に進学した人には、研究者、技術者としての主体性を高め、多様な局面に迅速に対応し、問題の本質を見抜き解決できる能力を身につけてほしいと考えています。そのために、工学研究科では、学生の勉学と研究を積極的に支援するとともに、従来の専攻の枠組みにとらわれない学際的な研究体制を発展させ、多彩な教育・研究指導により、世界的に優れた成果を得る機会と環境を提供します。また、大学院生による海外での研究発表を積極的に推奨するとともに、社会人の学位（博士（工学））取得も応援します。工学の分野で社会に貢献する使命感を持つ学生を受け入れたいと考えています。

- ・ 工学的基礎研究とその応用研究を遂行する自立した研究者となる素養を持った人
- ・ 国内外の研究者・技術者と共同して高度な技術開発を遂行できる技術者となる素養を持った人
- ・ 専門分野のみならず、他分野を横断した研究・開発を自ら企画し、実行できる力をもつ高度な技術者あるいは研究者となる素養を持った人
- ・ すでに社会で活躍しており、修士の学位を有するか、それと同等の学力と研究業績があると認められる研究者および技術者で、研究・開発におけるさらなる飛躍を求めグローバルに活躍する素養を持った人、または自らが得た研究成果を体系化する素養を持った人

《機械物理系専攻、電子情報系専攻、化学生物系専攻、都市系専攻》

3月1日（火）
10：00～
口述試験（1人あたり約30分）
提出書類、研究業績、研究計画等について口述試験を行います。 ＜機械物理系＞ ①研究業績、研究計画等を説明するためのPCプロジェクター用電子ファイル、②研究業績、研究計画等をA4用紙5枚程度にまとめたもの（上記①を配布形式で印刷したものでも可）5部を当日持参してください。 ＜電子情報系・化学生物系＞ 研究業績、研究計画等を説明するためのPCプロジェクター用電子ファイルを当日持参してください。 ＜都市系＞ ①研究業績、研究計画等を説明するためのPCプロジェクター用電子ファイル（発表時間15分）、②研究業績、研究計画等をA4用紙5枚程度にまとめたもの10部を当日持参してください。

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、「大学院の概要」〔別冊子〕の志望する専攻の研究テーマ欄の中から選んで、その研究テーマ番号を記入してください。
- ② 「研究指導教員名欄」には、事前相談をした研究指導を志望する教員名を記入してください。
- ③ 「受験外国語」欄には、記入する必要がありません。

● 生活科学研究科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

人間生活の多様な側面について、専門的知識をもとに科学的に追究し、現代社会における生活問題の改善や解決について独創的、体系的に究明しようとする人を求めます。

《生活科学専攻》

出願しようとする者は、「大学院の概要」を参照の上、志望する専門科目の教員に平成27年12月1日(火)までに必ず相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。

2月17日（水）		
10:00～12:00		13:30～
筆答試験		口述試験
外国語1	外国語2	提出された論文等を中心として発表（約10分）を行った後、それに関連した専門科目について行います。 <OHP・PCプロジェクター等使用可>
必須	次の3科目から 1科目 選択 英語2 ドイツ語 フランス語	
英語1	※ドイツ語・フランス語については独和・仏和辞典1冊の持ち込み可。 ただし、電子辞書は不可。	

受験上・修学上の配慮が必要な場合は資格審査と選抜方法等を一部変更することがありますので、事前相談 [平成27年12月1日(火)まで] の時にお問い合わせください。

願書記入上の注意

- 「志望専攻」欄に「生活科学」と記入してください。
また、「志望分野」欄に専門分野名を「大学院の概要」から選んで記入してください。専門分野名は研究テーマ欄の【 】から選んで記入してください。
- 「受験外国語」欄の1に上記外国語2から1科目を選んで記入してください。
- 口述試験でOHP・PCプロジェクター等を使用する場合は、「氏名」欄右端に必要な機器を記入してください。ただし用意できない機器もありますので、事前に学生サポートセンター生活科学研究科教務担当に相談してください。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、平成27年12月3日(木)までに、志願する研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、平成27年12月4日(金)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り12月3日(木)までに申し出てください。

8 合格者発表等について

(1) 合格者発表

掲示・ホームページにより合格者の発表をおこないます。

研究科	日時（掲示・HP掲載期間）	場所（掲示）
経営学研究科	3月3日（木）10:00～3月9日（水）17:00	各研究科の指定する場所
経済学研究科	3月2日（水）10:00～3月8日（火）17:00	
法学研究科	3月3日（木）10:00～3月9日（水）17:00	
文学研究科	3月3日（木）10:00～3月9日（水）17:00	
理学研究科	2月26日（金）10:00～3月3日（木）17:00	
工学研究科	3月10日（木）10:00～3月16日（水）17:00	
生活科学研究科	3月3日（木）10:00～3月9日（水）17:00	

ホームページでの合格者発表

大阪市立大学入試情報ホームページ (<http://daigakuju.jp/ocu-in-goukaku>) に、合格者受験番号の一覧を掲載します。

なお、いずれの発表方法についても電話等による可否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

※経済学研究科・文学研究科を受験した者については、合格者発表日に「合格者受験番号一覧表」を発送します（返信用封筒を用意する必要はありません）。

(2) 合格通知書

合格者発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続等について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格者発表日に、「合格通知書」及び「入学手続等について」を発送します（手渡しでの書類交付はありません）。

(3) 入学手続

日時 平成 28 年 3 月 25 日 (金) 10:00 ~ 15:00 (ただし、12:00~12:45 を除く)
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

9 学 費

現行の金額は次のとおりですが、平成 28 年度入学者の金額については変更されることがあります。

入学料	納付区分	「大阪市住民及びその子」 注	222,000円
		「その他の者」	342,000円
授業料		年間	535,800円

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注 1 「大阪市住民及びその子」とは、入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、平成 27 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。

2 「大阪市住民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」及び「住民票などの公的書類（平成 28 年 3 月中に交付を受けたもの）」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は合格者発表日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※既納の納付金は、還付いたしません。

なお、授業料の減免の制度があります。詳細については、国際センター（TEL 06-6605-3558）において別途お知らせします。

また、入学料については、平成 28 年 3 月に本学研究科前期博士課程及び本学法学研究科法曹養成専攻を修了して進学する者は、不要です。

10 注意事項

※14 ページに記載の「10 注意事項」を参照してください。

ただし、15 ページに記載の「2 出願資格(3)(4)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。

なお、入学手続きに際して、わが国に居住している保証人が必要です。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。
詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（裏表紙参照）。

<出願資格審査について>

一般選拔出願資格(3)、(4) 1ページ参照
外国人留学生特別選拔出願資格(3)、(4) 15ページ参照 } に該当する者が対象です。

1. 出願資格審査申請期限

平成27年12月1日(火) 【消印有効】

2. 出願資格審査申請書等送付先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
(志望する研究科あてに送付してください〔裏表紙参照〕。)

3. 出願資格審査申請書類

- ① 出願資格審査申請書 本学所定用紙
- ② 最終学歴に関する証明書
・最終出身学校の成績証明書
・卒業(修了)証明書
(最終出身学校の学則及びシラバス、又はこれに相当するものの提出を求める場合があります)
- ③ 職務経歴又は学力に関する書類 (提出を求める場合があります)
- ④ 志望理由書 (提出を求める場合があります)
- ⑤ その他、申請者本人の希望により、上記以外の証明書・論文・作品・資料等を添付することを認めます。

なお、和文、英文以外のものについては、公的機関等(出身大学、日本語学校、大使館等)の証明のある翻訳文をあわせて提出してください。

(翻訳文を必要とする証明については、厳封は不要です。)

※ 提出書類は、原則として返却しません。

4. 出願資格審査

各研究科の選考方法による。

5. 出願資格審査結果通知方法

出願締め切り日の1週間前までに郵送(速達)により通知。
(ただし、理学研究科については別途連絡します。)

6. 出願資格認定有効期限

当該年度、当該研究科に限り。

7. 出願資格審査申請書請求方法

※ 平成27年12月1日(火)【消印有効】までに必ず必要書類をそろえて申請できるように、出願資格審査申請書の請求を早めに行ってください。

(1) 直接窓口で受領する場合

学生サポートセンター各研究科教務担当で受領してください。

月～金曜日(土、日、祝日を除く)9:00～17:00
(ただし、12:00～12:45を除く)

(2) 郵送で請求する場合

ア 請求する封筒の表に「大学院出願資格審査申請書請求」と「赤色」で書き、裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入。

イ 返信用封筒(92円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記した定形封筒)を同封。

ウ 請求先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当

(志望する研究科あてに請求してください〔裏表紙参照〕。)

<社会人特別選抜学生募集の概要>

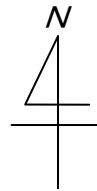
研究科名	経済学研究科	文学研究科	理学研究科	工学研究科	生活科学研究科
専攻名	現代経済	哲学歴史学 人間行動学 言語文化学 アジア都市文化学	数物系 物質分子系系 生物地球系系	機械物理系系 電子情報系系 化学生物系系 都市系系	生活科学
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願資格 (A及びBの 両条件を 充たす者)	次のいずれかに該当すること (1) 修士の学位を有する者 (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者 (3) 平成元年文部省告示第 118 号をもって文部大臣の指定した者 (4) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同 等以上の学力があると認められた者で、平成 28 年 3 月 31 日現在において 24 歳以上 の者（経済学研究科は満 30 歳以上の者）				
	A	上記 A(1)～(4) に該当する者で、 平成 28 年 3 月 31 日現在において、 満 30 歳以上の者。	上記 A (1)～ (4)に平成 28 年 3 月 31 日現在に おいて 3 年以上 の職業その他の 社会的経験を有 する者。	上記 A (1)～ (4)に該当する 者で、平成 28 年 3 月 31 日現在に おいて 2 年以上 の勤務経験又は 社会経験を有す る者。	上記 A (1)～ (4)に該当する 者で、平成 28 年 3 月 31 日現在に おいて、大学、 研究所等（教育 研究機関、官公 庁、企業等）に おいて 1 年以上 の勤務経験を有 する者。
出願書類 配付時期	平成 27 年 11 月上旬				
出願期間	平成 28 年 1 月 4 日（月）～ 8 日（金）【8 日 17 時必着】 ※ただし、1 月 7 日（木）以前の発信局（日本国内）消印のある「書留速達郵便」に限り、期限後に到着 した場合でも受理します。また、最終日の 15 時から 17 時のみ入試室の窓口でも受け付けます。				
学力試験	2 月 18 日（木） 19 日（金）	2 月 17 日（水） 18 日（木）	2 月 10 日（水）	3 月 1 日（火）	2 月 17 日（水）
合格発表	3 月 2 日（水）	3 月 3 日（木）	2 月 26 日（金）	3 月 10 日（木）	3 月 3 日（木）
選考方法	筆答試験、口述 試験の成績及び研 究計画書等出願書 類の内容を総合し て行います。	筆答試験、口述 試験の成績及び 研究計画書等 出願書類の内容を 総合して行いま す。	口述試験の成 績及び出願書類 の内容を総合し て行います。	口述試験の成 績及び出願書類 の内容を総合し て行います。	筆答試験、口述 試験の成績及び 研究計画書等出 願書類の内容を 総合して行いま す。

※ 社会人特別選抜による入学者についても一般選抜による入学者と同様に昼間課程となります。
詳しくは、各研究科ごとに発行している後期博士課程社会人特別選抜学生募集要項を参照してくださ
い。募集要項の請求方法は裏表紙下欄を参照してください。

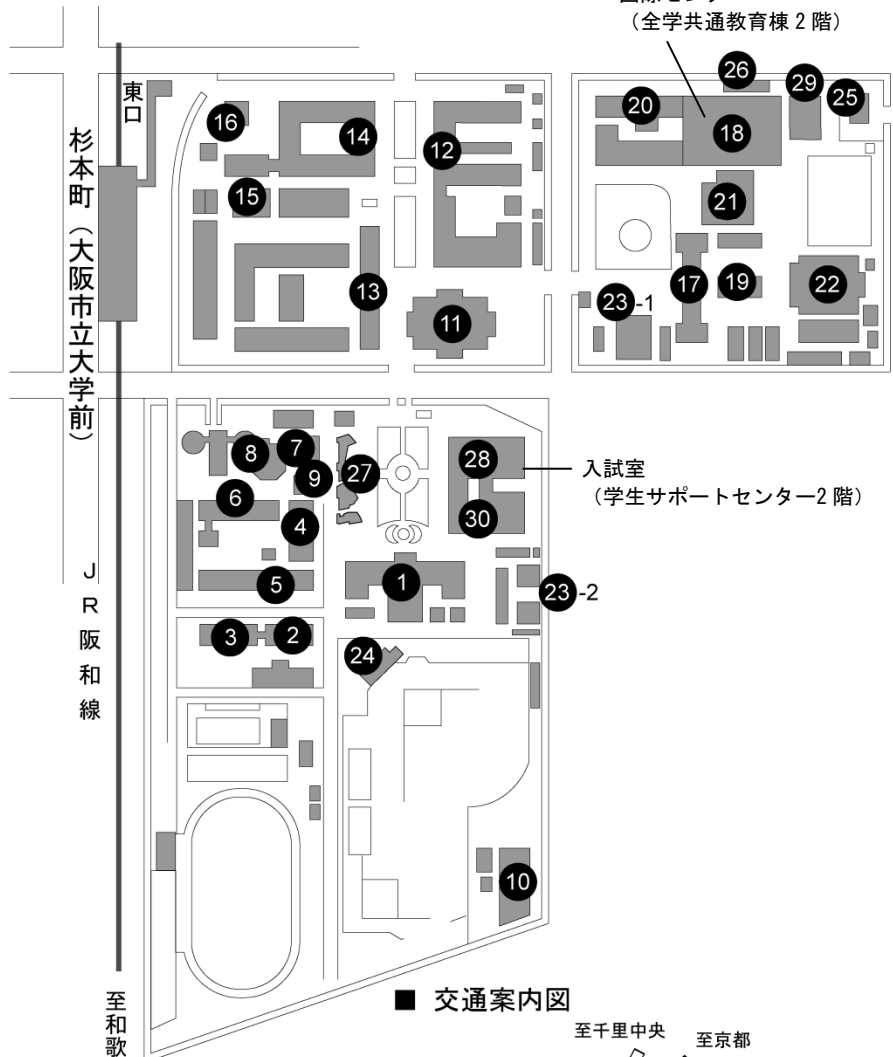
—MEMO—

■ 杉本キャンパス

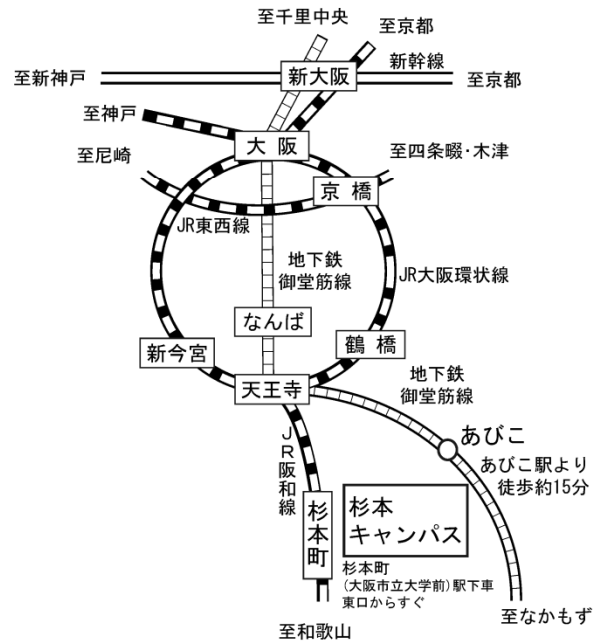
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 JR「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ
 地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分



- ① 1号館
- ② 商学部棟
- ③ 経済学部棟
- ④ 法学部棟
- ⑤ 文学部棟
- ⑥ 経済研究所棟
- ⑦ 都市研究プラザ
- ⑧ 田中記念館
- ⑨ 保健管理センター
- ⑩ 河海工学実験場
- ⑪ 学術情報総合センター
- ⑫ 理学部棟
- ⑬ 工学部棟
- ⑭ 生活科学部棟
- ⑮ 工作技術センター
- ⑯ 心理臨床室
- ⑰ 2号館
- ⑱ 全学共通教育棟
- ⑲ 4号館
- ⑳ 基礎教育実験棟
- ㉑ 第1体育館
- ㉒ 第2体育館
- ㉓₁ 第1学生ホール
- ㉓₂ 第2学生ホール
- ㉔ 硬式野球場スタンド
- ㉕ ゲストハウス
- ㉖ 新産業創生研究センター
- ㉗ 高原記念館
- ㉘ 学生サポートセンター
- ㉙ 共通研究棟
- ㉚ 企画総務課



■ 交通案内図



● 問い合わせ先

◆専攻・分野・受験科目・過去問題等

学生サポートセンター		〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
経営学研究科教務担当	TEL 06-6605-2203	FAX 06-6605-3649 〔各研究科共通〕 (FAXでお問い合わせの際は、必ず志望研究科名を明記してください。)
経済学研究科教務担当	TEL 06-6605-2251	
法学研究科教務担当	TEL 06-6605-2303	
文学研究科教務担当	TEL 06-6605-2353	
理学研究科教務担当	TEL 06-6605-2504	
工学研究科教務担当	TEL 06-6605-2651	
生活科学研究科教務担当	TEL 06-6605-2803	
◎受付時間 月～金曜日(土、日、祝日を除く) 9:00～17:00 (ただし、12:00～12:45を除く)		

◆出願手続等

大阪市立大学大学運営本部入試室	TEL 06-6605-2141
-----------------	------------------

出願書類の請求方法 (郵送希望者)

- 1 封筒の表に「赤色」で「大学院〇〇研究科後期博士課程学生募集要項請求 (一般選抜・外国人留学生特別選抜) 又は (社会人特別選抜)」と記入
- 2 返信用封筒 (封筒の表に「ゆうメール」と「赤色」で記載のうえ、300円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記したもの [角形2号(24.0cm×33.2cm)]) を同封してください。
- 3 請求先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
大阪市立大学大学運営本部入試室



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

大学運営本部 入試室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

平成27年11月発行